

NISAで長期・積立・分散投資

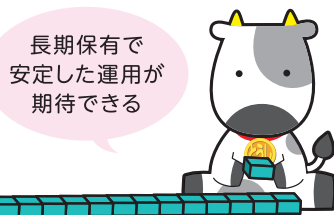


証券投資って
なんだか不安…。
そんな人に
おすすめ!

証券投資にはリスクがつきもの。リスクとうまく付き合うための方法「長期・積立・分散」投資をご紹介します。

【長期投資】

金融商品の価格変動に一喜一憂せず、長い目で保有し続ける方法です。金融商品の価格は上がったたり下がったりと変動します。一時的に下がっていたとしても、長期で見ると上がることもあります。また、金融商品を長期で保有することによって、配当金等を繰り返し受け取ることができたり、保有し続けることで売買にかかる手数料等も不要になります。



長期保有で
安定した運用が
期待できる

【積立投資(定時・定額購入方法)】

毎月、定期的に、1,000円など一定金額ずつ買い付ける方法です。株価(基準価格)が安い時は多く、高い時は少なく購入することになり、結果として平均の購入価格が下がります。また、長期投資にもつながる結果となり、この「定時・定額購入」を長期間行うことによって、損失のリスクが抑えられます。



実際の日経平均株価で単純に試算すると(一括購入の場合)…日経平均の高値であった1989年12月の38,915円で投資をし、2022年12月26,094円で売ったとすると、**約33%の損失**となります。
(積立投資(定時・定額購入方法)の場合)…同期間に毎月1万円ずつ投資をしたとすると、397万円(397か月)が、**683万円と約1.72倍**となるという効果があります。

※実例は過去のデータによるものであり、将来の市場環境を保証するものではありません。※配当金・手数料等は考慮していません。

【資産分散投資】

投資する先(資産)を分散させる方法です。投資の世界には、「1つのカゴに卵を盛るな」という格言があります。1つのカゴに卵を全部入れておくと、カゴを落としたときに卵が全部割れてしまうので、あらかじめ複数のカゴに分けておくことで、リスクを最小限に抑えようという考え方です。



1つのカゴに盛ると
落とした時
全部割れる。

「長期・積立・分散」投資は、どれか一つではなく、**すべて併せて行うことが大切です**。NISAでは、**「長期・積立・分散」投資が可能**です。特に、**つみたて投資枠**では、長期の積立・分散投資に適した一定の株式投資信託のみ購入が可能であるため、**自動的に「長期・積立・分散」投資が可能**です。

証券投資の魅力とリスク



会社は株式を発行して株主をつのり、それで得た資金で事業を拡大、収益の一部を「配当金」として株主に還元します。株主は購入した株式の値上がりによる売買益(キャピタルゲイン)が期待できます。

株式投資の3つの魅力

会社を応援	社会貢献	株主優待
自分が興味・関心などのある会社に投資することによって資金面で 応援 することができる	環境や社会に配慮した会社に投資することによって 社会貢献活動に参加 できる	商品券や割引券、サービス券などさまざまな 株主優待 が受けられる会社も

株式投資のリスク

信用リスク	価格変動リスク
購入した会社が経営破たんする可能性	株式の値段(株価)が値下がりする可能性

リスクに対応するには ▶ **長期投資** **積立投資** **資産分散投資**



投資信託(ファンド)とは、投資家から集めたお金をまとめ、資産運用の専門家が株式や債券などに投資・運用し、その運用の成果として生まれた利益を投資家に還元するという仕組みの金融商品です。運用対象や運用手法により、安全性を重視して運用する投資信託から積極的にリスクを取りつつ収益性を追求する投資信託まで多くの種類があります。

投資信託の3つの魅力

専門家が運用してくれる	1,000円程度の少額から はじめられる商品も	資産分散投資で リスクを軽減 できる
-------------	----------------------------	---------------------------

投資信託のリスク

信用リスク	価格変動リスク
組み入れた株式・債券の発行体が元本や利息を支払えなくなる可能性	組み入れた株式・債券が値下がりする可能性

リスクに対応するには ▶ **長期投資** **積立投資** **資産分散投資**

* 外国の株式や債券で運用する投資信託には為替変動リスク等があります。